

令和3年2月13日

## ぶどう組 懇談会資料

国立ひまわり保育園

園長 奥野かよ

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

### ◎生活習慣

朝の身支度や帰りの支度、手洗いやうがいの仕方など身の回りのことができるようになってきました。また、食事のマナーなど段々と意識をすることができ、食事の声の大きさや、食器の並べ方、箸の使い方など保育者が声を掛けるだけでなく、子どもたち同士で教え合いながらルールを学んでいっています。

椅子の座り方や話の聞き方などは朝の会、帰りの会を通して、子どもたちに気付いてもらえるように取り組んでいます。お手伝いや前に立ち発表をするお当番さんの役割の中で、周りの子の座り方はいかが、自分はどういう風に話を聞いてほしいのか、など気付いたことをその後に活かせるように子どもたちと一緒に生活習慣への取り組みを進めてきました。

### ◎友だちとの関わり

グループ活動やお楽しみ会、ふれあいデーなど沢山の場面で色々なお友だちと関わる機会がありました。4月当初と比べ自分の気持ちを伝えるだけでなく、相手の話を聞くことや、相談をして決めていくことが活動の中だけでなく、遊びの中でも見られるようになってきました。しかし、友だち同士の言い合い、思いが通じないことや、思い通りにいかない状況で、咄嗟にお友だちを傷つけてしまうような言葉を言うてしまう場面もありました。そのような時には保育者が仲立ちをして、お友だち同士でどうしたらいいのかを話し合ってみたり、それでも解決しない時にはクラス全体で話し合いをして、他のお友だちにアドバイスをもらい解決策をみんなで考えてみたりなど様々な方法で子どもたち同士の関わりが行えるようになってきました。

子どもたちの自分だったらどうするか、という気持ちを聞くことで「こういう考えがあったのか」「今度はこうしてみよう」などと子どもたちの気づきにもなり、今後同じことがあった時に「そういえばあの時」と思い出し、自分から行動を変えていけるような子どもの自発性を願って、子どもと相談する機会を作ってきました。

### ◎遊び

ぶどう組では制作遊びやレゴブロックがとても人気です。最近ではお手紙に夢中になる様子があり、「ぶどう組 ポスト」を作ると毎日沢山お手紙を入れてくれる子も増えてきました。お手紙を届けるのはお当番さんの役割なので、自分にお手紙こないかな？ お友だちに届くといいな、など期待を抱く時間にもなっています。また、お手紙を書く中で、文字へと興味が広がり字の練習をしたり、ひらがなを理解したりと学びにも繋がっています。

園庭遊びでは縄跳びやボール遊びをする様子が多く見られます。ボール遊びでは中当て

だけでなく、ドッチボールもできるようになりました。ルールを理解するのが最初難しかった子も、繰り返し遊びの中で行っているうちに、いつの間にかやり方を学んでいき、今ではチーム分けをし、勝敗をつけるまでゲームを続けることができるようになりました。

幅広い遊びが展開できるようになってきたので、楽しい遊びはみんなで共有をしながら子どもたち一人一人の経験・自信に繋げていきました。

### ◎進級に向けて

進級に向けて、改めて身支度などの「自分のことは自分で行なう」ことを確認しながら過ごしています。また物の使い方、食事のマナー、言葉遣い、皆で何かを成し遂げる嬉しさなど、1年間みんなで考えてきたことを改めて確認し、子どもたちが自信をもってすいか組に進級することができるようにしています。また、異年齢交流を行い年下のお友だちとの関わりが増え、お兄さん・お姉さんとしての意識が芽生えている姿が見られます。年下のお友だちを思いやる気持ち、優しい気持ちを更に育むことが出来るように、積極的に関わる機会を作っています。

また、進級して環境の変化を不安に思う子どもたちもいると思います。今はひまわり保育園で一番大きいお兄さん・お姉さんになるということをととても楽しみに過ごしていますが、漠然とした不安を抱えることがあるかもしれません。すべての不安を取り除くことは難しい事なのかもしれませんが、不安な気持ちを丁寧に受け止め、少しの不安と期待感を持ってすいか組に進級し、実際にすいか組で過ごしていく中で不安な気持ちが解消されていくように保育士みんなで支えていきます。

### ～懇談会アンケート結果～

#### ◎成長したと感ずること

- ・出来ることが増えた。(挨拶、我慢ができる、お手伝い、自転車に乗れるようになったなど運動面でできる事が増えた。)
- ・登園時に離れるのを嫌がらなくなった。
- ・自分の想いや考え、園での様子を言葉で伝えられるようになった。
- ・時計を意識するようになった。
- ・様々なことに興味を持ち、挑戦するようになった。
- ・食事の完食量が増えた。

#### ◎進級するにあたり、心配なことや質問

- ・文字の読み書きができず、心配している。  
→子どもたちが自分から文字の読み書きに興味を持つことが出来るように、保育室にいろいろお表を貼り、かるたやお手紙交換などを行う中で文字に触れる機会を沢山作っています。文字の読み書きについては一人一人のペースを大切にしながら見守っています。